# 発表論文集原稿作成要領 (一般発表用)

○筆頭発表者氏名<sup>1</sup> 連名発表者 A 氏名<sup>1</sup> 連名発表者 B 氏名<sup>2</sup> (<sup>1</sup>所属 C, <sup>2</sup>所属 D)

#### 1 内容及び形式

原則として、研究の目的、方法、結果、考察及び結論に分けて、必要事項を明確に記述し、研究成果として不可欠な図、表、写真などはすべて論文集原稿に記載してください。例えば、「結果の詳細は発表の際に述べる。」などと記述することのないようにしてください。

個人情報の取扱いについては, 「発表論文集 原稿作成における個人情報の保護についての お願い」を熟読の上、十分御配慮願います。

#### 2 提出方法

原稿は、口頭発表、ポスター発表共、<u>第63</u> 回大会 Web 申込ページより PDF ファイルを 御提出ください。この提出方法が困難な場合 は事務局に御相談ください。大会会場での提 出は受け付けませんので御了承ください。

期限までに発表論文集原稿の提出がない場合は、正式な学会発表とは認められませんので、御注意願います。

#### 3 作成の手順

一つの発表につき、一つの原稿 (B5 サイズ 用紙 2 枚) を作成してください。「その 1」、 「その 2」、(1)、(2) …などと同じテーマで 複数の発表をする場合も、個々の発表につい て完結した原稿を作成してください。

所定の原稿用紙はありません。各発表者が,「4 体裁」にのっとってパソコンやワープロを使用して作成し、PDFに変換したファイルを提出願います。

なお、論文集原稿は、そのまま印刷され、

左右見開きに配置されます。体裁等が印刷に 不適当ですと,作り直していただく場合もありますので,十分御留意ください。(スキャン して PDF に変換した場合,原稿の汚れ等も そのまま印刷されますので,御注意ください。)

- 4 体裁 (この書面の体裁を参考にしてください。)
  - (1) 割り付け及びフォント

「題目」、「氏名」及び「所属」は、1枚目の中央に書いてください。

「題目」は、第1行に大きめの文字(14 ポイント程度)で記載してください。「副題」をつける場合、次行に(10.5~12 ポイント程度で)記載してください。また、副題の前後は「一」で囲ってください。

「本文」は、1枚目は第5行の左端から、 2枚目は第1行の左端から、左右2段に分けて記載してください。文字サイズはなる べく10.5ポイント以上としてください。

「題目」の字数や「副題」の有無による 行数の変更は差し支えありませんが、「本 文」と「所属」の間は必ず1行空けてくだ さい。また、欄外には、記事やページ番号 等を記入しないでください。

フォントは、「題目」を含めて明朝体を基本としてください。 語の強調等のために異なる字体を用いることは差し支えありません。

## (2) 氏名及び所属の表記方法

「氏名」は、「題目」及び「副題」の下の 行に、10.5 ポイント以上の文字で、**職名等 の肩書きを付けずに記載**してください。表 記方法は、「犯心 太郎」というように、<u>姓</u> <u>と名の間を 1 文字空けてください。</u>また、 連名発表の場合は、全員の氏名を列記し、 <u>筆頭発表者名の前に〇印を付けてください。</u> (氏名と〇印の間にスペースは空けません。発表者が 1名の場合は、〇印は付けないでください。)

「所属」は、「氏名」の次の行に 10.5 ポイント以上の文字で、<u>括弧書きで記載</u>してください。大学に所属している場合には、学部名、研究科名、あるいは研究所名まで書いてください。<u>連名発表で発表者の所属が同一の場合には、本書冒頭で例示した要領に従って番号を振り、まとめて記載して</u>ください。

# (3) 書式

各ページ左右2段組で構成し、1枚目は各段おおむね21字×32行、2枚目は各段おおむね21字×37行に設定してください。字数の関係でやむを得ず書式を変更する場合は、読みやすさを考慮して設定してください。文字間や行間を詰め過ぎたり広げ過ぎたりしないよう願います。

# (4) 図表·写真

図表や写真は、すべて本文に含まれ、本文と共にそのまま印刷されます。以下の見本(図1・表1・図2(写真))を参照し、できるだけ解像度の高い鮮明なモノクロで掲載してください(カラーやセピア色は不可)。また、B5サイズ用紙で印刷されますので、図表内の文字が小さくなり過ぎないよう御注意ください。

なお、PDFに変換した後は、正しく表示 されているか(図や文字が切れたりずれた りしていないか)必ず御確認をお願いしま す。

#### 〈図表掲載例〉

#### 図1 両群の就業率の推移

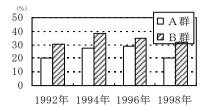


図2 事例Yの家族画

写真

表 1 3 年間の失業率の推移

年 度	失業率
1978	2. 2
1979	2. 1
1980	2. 0

# (5) 余白の設定

上下 20 mm, 左右 15 mm 以上の余白を 残さないと, 原稿の一部が印刷できなくな りますので注意してください。

### (6) 訂正

提出後に原稿の訂正はできませんので, 提出前に十分点検してください。

#### 5 著作権

提出原稿の著作権は日本犯罪心理学会に帰属しますので御了解願います。

6 原稿提出・お問い合わせ先 下記にお願いします。

### 【原稿提出】

第63回大会 Web 申込ページ

#### https://iap-

jp.org/jacp/conf/member/login\_portal

# 【お問い合わせ】

日本犯罪心理学会第 63 回大会抄録原稿 問い合わせ受付係

E-mail: jacp63@je.bunken.co.jp